

第三セクター等経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和2年1月16日
作成担当部署 鳥取市経済・雇用戦略課

2. 法人の概要

法人名 有限会社かみんぐさじ
代表者名 岡村 寿則
所在地 鳥取市佐治町福園146番地の4
設立年月日 平成7年11月1日
資本金 3,000千円【鳥取市の出資額（出資割合） 1,550千円（51.7%）】
業務内容 鳥取市佐治町和紙生産伝習施設の管理及び運営に関する指定管理業務

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

和紙生産伝習施設「かみんぐさじ」は佐治地域の和紙産業の振興等を目的に平成7年度に設立された。平成18年度から指定管理者制度へ移行して以降、有限会社かみんぐさじが指定管理者として運営している。従来和紙生産部門での収入が本施設の経営を支えていたが、和紙業界の衰退及び職員の高齢化等による生産性の低下で和紙生産部門の売上が年々減少する中、後継者が育たず平成27年度から売上はさらに落ち込んだ。和紙生産部門を補うように運営していた食堂部門も体制変更で人件費がかさんだことや地域の人口減少等の理由から全体としての経営状況は悪化、平成30年度には3期連続の経常損失を計上した。鳥取市は、毎月の業務報告、年度ごとの業務報告に加え、適宜指定管理者から報告を受け、必要に応じて適切な指導を行っている。また毎年サービスの実施状況、施設の維持管理状況、事業収支などを評価し、ホームページで公表している。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

和紙業界の衰退、職員の高齢化による生産性の低下などを背景に経営状況が悪化する中、平成30年7月に指定管理者である有限会社かみんぐさじ、鳥取市経済・雇用戦略課、佐治町総合支所の3者で協議を行った。本協議において、地域での必要性や和紙伝習の重要性を今一度話し合い、現在の運営方法の見直しや改善など企業努力を見込んだ上で、指定管理料算出時と現状の収支等を照らし、指定管理料を算定し直すこととした。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

上記協議の中で、和紙生産などの収入が大幅に減少している状況、必要経費の見直しなどを加味し、指定管理料を1,925千円から4,014千円に引き上げた。食堂部門は売上高の約半分を占め、同施設の集客に寄与していたが、原価率が48%と高いことに加え、消耗品費などの固定費も他部門より負担が大きく、高齢化と地域を取り巻く環境も厳しく今後も利益確保は困難と判断し、平成30年度末をもって休業とした。食堂部門を休業することで、今後は和紙生産・販売・体験の本業に経営資源を集中させることで、経常損益の改善を目指す。具体的には、和紙生産部門では生産環境改善による生産性向上、販売部門ではSNS等を活用した販路拡大や新商品開発、体験部門では関係団体との取組強化、などに取り組んでいる。

6. 法人の財務状況

項目	金額（千円）		
	H28年度	H29年度	H30年度
資産合計	12,933	10,399	7,949
（うち現預金）	6,182	2,214	1,129
（うち売上債権）	2,151	3,117	1,453
（うち棚卸資産）	3,659	3,730	3,957
負債合計	8,796	9,004	9,724
（うち鳥取市からの借入金）	0	0	0
純資産	4,137	1,395	-1,776

項目	金額（千円）		
	H28年度	H29年度	H30年度
経常収益	17,683	19,323	19,918
経常費用	18,676	21,984	23,008
経常損益	-993	-2,660	-3,090
当期純損益	-1,070	-2,741	-3,171